



5G中心に計測器レンタル堅調

最先端機器の在庫が強み

コロナ禍が長期化し、世界的な半導体不足の影響もあるが、基地局整備やデバイス開発など第5世代移动通信規格5G関連の計測需要は堅調だ。開発のサイクルが早く、すぐに技術が陳腐化しがちなため最新の機種をレンタルで短期間活用するケースも多い。レンタル各社の動向を見る。

レンタル製品220万台
オリックス・レントテック
(東京都品川区)は3万4
000種、220万台のレ
ンタル製品を所有する。パ

ソコンなどICT関連機器
のほか環境分析機器、3D
プリンターやロボット、ド
ローンなど取り扱い分野も
幅広い。
半導体不足の影響につい

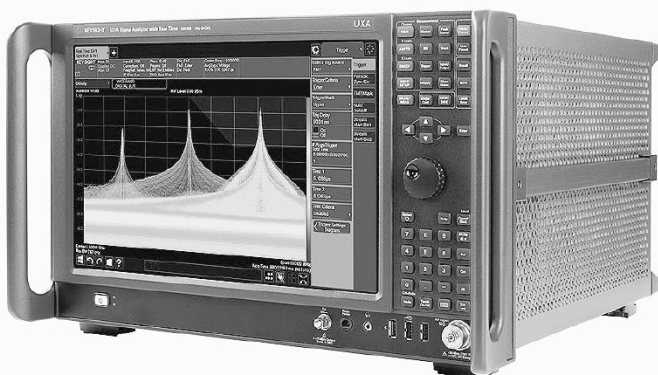
機種でもレンタルされた
り、新製品が納入されずレ
ンタル契約が継続されるケ
ースもある」という。
計測器のレンタルで増え
ているのは通信分野で、特
に5G関係は好調。電波干
渉や信号解析、電波の安全
性評価で使うスペクトラム
アナライザーや信号発生
器、ネットワークアナライ

前年比で約2割増

て、エリアテストや電波伝
搬シミュレーションなどで
のサポートを試みる。
従来、同社の計測器レン
タルの主要ユーザーは製造
業。工場DX(デジタル変
革、デジタルトランスフォー
メーション)に向けたロ
ーカル5Gの提案は関心が
高いという。エンターテイ
メント系のローカル5G
活用でもSIIヤーと協力し
て市場開拓を進める。

横河レンタ・リース(東
京都新宿区)でも「5G関
連の動きは顕著」と後藤和
宏執行役員は話す。
スペアナやネットワーク
アナライザーなど、引き合
いの多い測定器はオリック
ス・レントテックと同様。ア
ンテナなど基地局メーカー
のほか端末メーカーのユー
ザーも多い。サブ6(使用
周波数6GHz帯)での用途
が先行するが、後藤執行役
員は「レンタル会社として
るのが重要」と語る。

測器を保有した上で、適宜
レンタル品も利用する。資
産管理台帳や計測器利用で
必須となる校正の期日管理
が部署単位で行われるため
一元化されていない面もあ
る。レンタル会社として、
それら課題に 대응するのが計
測器管理のクラウドサービ
ス「マイアセツ」だ。
各部署で使用が滞る機器
を把握・整理して情報を共
有し機器共用の最適化を図
る。所有品も含めた計測器
の利用予約やレンタル契約
の利用予約やレンタル契約
満了の通知も行える。
エンジニアを派遣して棚
卸しをし、スペックや製品
カテゴリ別の統一化など
レンタル会社のノウハウで
データベースづくりにも協
力。計測器稼働の効率化を
支援することで、レンタル
品の利用を促していく。



5G計測でレンタル需要が多いアンリツの「MT8000A」(上)とキーサイトの「N9040B」

5Gを地域限定で
活用するローカル5
G構築に際した計測
器需要にも期待は大
きい。
キャリア(通信事
業者)のように計測
の知見のない事業者
が単独でネットワー
クを自営するのは容
易ではない。そのた
め同社はシステムイ
ンテグレーター(S
Iヤー)と組み、さ
まざまなメーカーの
製品を扱うレンタル
会社の強みを生かし

「前年比で約2割
増」(後藤執行役員)。基
地局を敷設する事業者が使
うハンディー型現場測定器
のニーズも見込む。
クラウドサービス提供
ユーザーはたくさん計